

福島南ロータリークラブ会報



国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー
Mark Daniel Maloney

国際ロータリー第2530地区ガバナー 芳賀 裕

福島南ロータリークラブ 会長 鈴木 光一 幹事 菅野 良二
目標「奉仕の心で人との繋がりを大切にしよう」

会員/73名 出席/40名 出席率/54.79%
マークアップ/33名 修正/73名 修正後率/100.00%

本日の例会は冒頭、コロナウィルスによる犠牲者のための黙祷を行いました。また感染防止策として各席の間隔を広くとり、国歌、ロータリーソングは歌わずに聞くだけ、四つのテストは唱和せず担当委員の読み上げのみとしました。でも習慣は変えられませんね。無意識でつい歌ったり唱和したりしそうになります。(どこから聞こえてきたような…)

会長挨拶 鈴木 光一 会長



はじめに、本日の来訪者を紹介します。米山奨学生、邸 晶晶さんです。4月1日帰国の予定でしたが帰国便の都合により4月29日に変更となりました。

コロナウィルスによる被害が昨日、内堀福島県知事からも発表され福島市内で2人の感染者が出たと言うこともあり、衛生の面で現在コロナウィルスによる大変は事態になっている事は承知しておりますが、私としても、例会をやるべきか、とりやめるべきか大変迷いました。取りやめる判断は簡単ですが、例会を行うことを判断する事の方が悩みましたが開催する事といたしました。今日お集まり頂きました会員の皆様に深く感謝申し上げます。この後の理事会におきまして今後の対応について審議したいと考えております。

当クラブで引き受けておりました交換留学生のミゲル君を3月27日に私と菅野幹事で成田空港まで送って来ました無事翌日の朝メキシコの自宅に戻りましたと成蹊高校の鈴木智美先生へ、お母様からお礼のメッセージとお父様とのツーショットの写真が添付されてメールが届いて居りましたので後でご覧ください。

今月は、母子と健康月間となっております。

毎年、5歳未満で命を落とす子どもは、世界で推定590万人その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと、私たちロータリーは考え、すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長できるように、私たちは支援活動を行い、地域社会が自力で母子の健康を守って行けるよう支援を行うことによって、持続可能な形で母子の健康を促進して行ければと思っております。

コロナ騒動の中で目にとまった出来事を皆様のテーブルに置きましたので見て下さい、イタリアの水の都ベネチアの運河への観光客が減り、底に溜まった泥がモーターボートで巻き上げられ濁り、観光客の捨てたゴミが減り運河が綺麗になり劇的な効果が出ているようです「自宅にとどまろう、そうすれば自然はあなたに感謝する」観光が大切か？自然が大切か？コメントを見ました。コロナウィルスが人類に与えた試練でしょうか？今後世界的に感染がいち早く収束することを願い本日の挨拶と致します。

4/8(第35回)~5月末まで例会は中止となりました。

誕生祝い

恒例の一人一言、今月のテーマは「このご時世にモノ申したい」です。

- 4月2日 佐久間 功 会員「元気でいることがありがたい」
- 4月12日 内戸隆司 会員「大学が休学になった娘と、久しぶりに家で過ごせた」
- 4月21日 齋藤弘之 会員「みなさんに『エール』を」
- 4月24日 黒羽好夫 会員「仕事引退しました。みなさんも早く引退してゆっくりどうぞ」
- 4月26日 赤間浩一 会員「中国が関係する生産がストップ。ものづくりはやはり国内で」



帰国ご挨拶 米山記念奨学生 邸 晶晶 さん

米山奨学生の邸晶晶さんより、帰国を控えてのご挨拶を頂きました。帰国後はアマゾンの北京支社での勤務が決まっているとのこと。日本滞在の最終段階が思わぬ波乱に見舞われてしまいましたが、これからのご活躍をお祈りいたします。



クラブ奉仕事業について 松崎弘昭 会長エレクト

(感染対策のためフリーディスカッションは取りやめ、会長エレクトからの発表と指名による意見表明を行いました)



・会員の方々の共通した意見は、「社会奉仕活動が多すぎて大変だ。奉仕活動の見直しが必要だ」ということです。しかし、アンケート調査の結果は、意外なもの(会報委注：活動継続賛成が多かったこと)でした。奉仕活動を始めた時の経緯やそれに対する思い入れが、会員一人ひとりが違うということがアンケート結果に繁栄されているのだらうと思います。

・そもそも、社会奉仕事業に負担を感じて、慣例的、義務的やっているようでは、受益者から見たらどんな感情になるでしょうか。受益者に感動や喜びを感じて頂くことで、奉仕する我々が同時に感動や喜びを感じることができる。ということが本来の奉仕のあり方ではないかと思えます。

〔発表意見〕

大橋廣治 PG「ロータリーは『タバコの吸い殻を拾う人の集まり』ではなく、『吸い殻を捨てない人を育てる場所』
廣澤俊樹 PG「ロータリーの目的は奉仕をすることではなく、『平和』『理解』『親睦』が目的。奉仕はそれを実現するための手段。この奉仕が何の役に立つのかを考えながら論じよう」

小坂和也 次年度社会奉仕委員長「活動を第三者がどう思っているのかも考えていきたい」
黒羽好夫 PG「一人一人、気持ちをもってやっていきたい」

6月10日(水)例会プログラム

1. 開会点鐘 2. 国歌斉唱 3. ロータリーソング
4. 四つのテスト 5. 来訪者紹介と会長挨拶
6. 誕生祝い (5~6月)
7. 米山奨学金授与、奨学生スピーチ
8. 臨時クラブ総会 9. スマイルングBOX 報告
10. 友誼みどころ 11. 次年度について
12. 幹事報告 13. 各委員会報告 14. 閉会点鐘

福島駅西口改札内「古閑裕而記念モニュメント」除幕式
3月26日、木幡浩福島市長も出席のもとで行われました。



— 例会予定 — ※各週ともお食事 12:00~
・6月17日(水) 各種お祝い、次年度各委員長挨拶
・6月24日(水) 最終例会 会長/幹事お礼挨拶、記念品贈呈